

「Panasonic NPO サポート マネジメント イノベーション プログラム」のご案内

パナソニック株式会社

特定非営利活動法人パブリックリソースセンター

2011 年 6 月

Panasonic NPO サポート ファンド【2011 年募集】組織診断事業のグループコンサルティング コース
「Panasonic NPO サポート マネジメント イノベーション プログラム」についてご案内いたします。

1. 目的と概要

組織課題を団体自らが分析し、団体内で課題認識を共有する力は、自己変革によるキャパシティビルディングの実現のために必要不可欠です。本プログラムは、環境および子ども分野における市民活動団体を対象に、学習の場や専門家によるサポートを提供することで、組織診断能力や合意形成のための技能を磨くとともに、現時点で取り組むべき優先課題を正確に把握することを目指します。

本プログラムでは、①5 団体を一組とし、②座学、ワークショップ、ピアラーニングを組み合わせた集合研修を 3 回実施し、③併せて団体が個別にコンサルタントからサポートを受けることのできる機会を提供します。

対象団体数は、10 団体（環境分野・子ども分野各 5 団体）です。

2. 組織診断とキャパシティビルディング

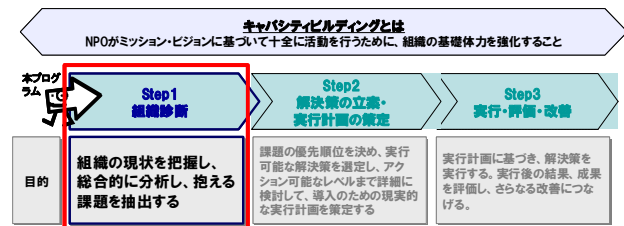
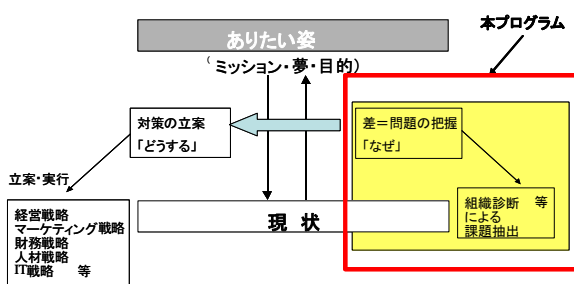
《組織診断とは》

組織診断とは、組織課題を把握するためのひとつの分析手法です。

NPO にはそれぞれのミッション・ビジョンに基づく「ありたい姿」があります。本プログラムでは、この「ありたい姿」と組織の現状との間にある差（＝ギャップ）が組織の抱える問題であり解決すべき課題であるという点に重視し、NPO の組織運営に必要なマネジメント項目に沿って組織の現状を分析し組織課題を把握します。

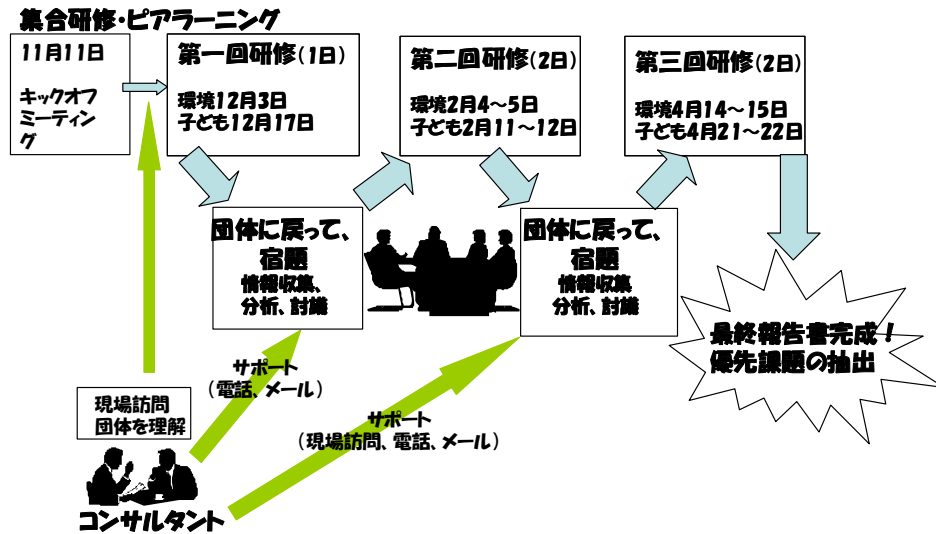
《組織診断の位置づけ》

組織診断は、キャパシティビルディングを構成する 3 ステップの最初のステップです。組織の現状を総合的に分析して優先課題を正確に知り、団体の中で共有することは、キャパシティビルディングの実効性を高めるために必要不可欠な条件です。



3. スケジュールと内容

- ・環境分野・子ども分野、各分野5団体を一組として集合研修を実施します。
- ・集合研修では、座学、ワークショップ、ピアラーニングを組み合わせます。
- ・集合研修への団体側参加者は2名を想定しています（事務局長、理事又は事務局員）。
- ・個別コンサルテーションの機会は、計33時間（現場訪問2回を含む）あります。



プログラム事務局/集合研修	団体における作業
10月末 参加団体決定、事務局より各団体に対するオリエンテーション資料発送	・参加者2名を決定
11月11日（金） ＜キックオフミーティング＞ ・本プログラムの概要説明 ・キャパシティビルディング概説	・関連資料（財務諸表、事業報告書等の主要事業実施状況資料）の提出
環境分野：12月3日（土） 子ども分野：12月17日（土） ＜第一回集合研修＞ ・座学 ・組織診断シートについて解説	・組織診断シートを持ち帰り、記入 ・コンサルタントによる第一回サポート
環境分野：2012年2月4日（土）～5日（日） 子ども分野：2月11日（土）～12日（日） ＜第二回集合研修＞ ・座学とピアラーニング、合宿形式で2日 ・組織診断シートの分析結果報告 ・強みと弱み、外部意見等についての情報収集、分析方法について解説	＜次回までの宿題＞ ・強みと弱み、外部意見等についての情報収集、分析実施 ・コンサルタントによる第二回サポート ・団体を訪問して、ファシリテーターとしてもサポート
環境分野：4月14日（土）～15日（日） 子ども分野：4月21日（土）～22日（日） ＜第三回集合研修＞ ・座学とピアラーニング、合宿形式で2日 ・SWOT分析を踏まえた最終分析結果についての討議 ・取り組むべき優先課題の抽出	＜最終報告書の作成＞ ・組織基盤強化に向けて取り組む優先課題とその根拠、組織診断書の作成
2012年5月末 ＜最終報告書提出＞	

5. 費用 45万円

※別途、コンサルタントの旅費交通費、コンサルタントとの通信費、本プログラムに参加するための2名分の旅費交通費がかかります。(集合研修の会場は東京都内です)

6. お問い合わせ

本プログラムに関するお問い合わせは下記のとおりです。

特定非営利活動法人 パブリックリソースセンター 担当：田中、田口

- 住所 〒104 - 0043 東京都中央区湊2 - 1 6 - 2 5 - 2 0 2
- 電話 03-5540-6256 F A X : 03-5540-1030
- eメール center@public.or.jp

以上